平成31年度当初予算　予算要求シート

事業区分：　重点　　マスタープラン：　3つの挑戦　低炭素　／　施策番号　5-1　・　・　・　　局・課名：　建設局・土木監理課

事業名	道路照明灯LED更新事業

事業概要

【目的】

交通安全施設である道路照明灯のLED化を実施することにより、通行の安全確保の役割に加えて、ランニングコストを抑えることにより維持管理経費の縮減を図る。また、消費電力が少なく、CO2の排出量削減による低炭素化・省エネルギー化の実現に貢献する。

【内容】

幹線道路照明灯約6,300灯を対象に、平成29年度より4ヶ年で、既存の道路照明灯（水銀灯やナトリウム灯）と比べ、消費電力が小さく製品寿命が長いという特性があるLED灯に10年間のリース方式等で更新を行うもの。

・H29年度　北部管内　　幹線道路　1,785灯
・H30年度　南部管内　　幹線道路　1,482灯
・H31・３２年度　西部管内　幹線道路　約3,000灯

【今年度要求のポイント】

北部管内分(H29年度導入済）及び南部管内分（H30年度作業中）に引き続き、西部管内分の幹線道路照明灯約1,500灯について、リース方式等でLEDの導入を実施し、電気代の削減、環境負荷の軽減、初期導入費用の平準化など効果を得る予定である。

事業費（千円）

平成29年度決算額	平成30年度予算額	平成31年度要求額
1,938	30,600	53,350

債務負担行為

期間	要求額（千円）
H　～　H	

主な要求内容　（単位：千円）

項目	30年度予算	31年度要求額	内容・積算等
LED照明リース	30,600	28,350	H29～31年度約4767灯分及びH31既存灯具廃棄
LEDへの更新	0	25,000	工事によるLED更新
合計	30,600	53,350	

スケジュール（経過及び今後展開）

【経過（～30年度）】
・H29年度北部管内、H30年度南部管内分について、リース方式でLED化を実施

【31年度】
・H31年度　西部管内分について、リース方式等でLED化を実施

【今後予定（32年度～）】
・H32年度　西部管内分について、リース方式等でLED化を実施。
・生活道路照明灯の対策実施

その他　特記事項

みんなの審査会対象外
関連事業：道路橋りょう維持
・2020年度には水銀灯の製造・輸入等が停止する。低炭素化・省エネルギー化の推進と併せ、平準化して順次LED灯具への更新を行う必要がある。

整理番号　：　19　－　2　－　0080